



認定特定非営利活動法人

RASA-Japan ニュースレター

理事長 藤井典夫

〒468-0014 名古屋市天白区中平2-2627 Tel/Fax 052-803-1649

ホームページ <http://rasa-japan.com> e-mail info@rasa-japan.com

郵便振替 口座番号 00890-4-31185

受取人 特定非営利活動法人RASA-Japan

三菱UFJ銀行 平針支店 普通 0037025

トクティヒエイリカソドウハウジンラサジャパン

2020.4
Vol.33

ごあいさつとお願い 理事長 藤井 典夫

いつもRASAの活動をご支援いただき、心から感謝しております。
ありがとうございます。

2月2日から約3週間、学生29名を理事3名(藤井、本田、山本)で引率し、ブラカン州パンディーで学校建設活動をしてまいりました。首都マニラ市では超高層ビルの建設ラッシュ。私は驚きの思いを隠し切れず、目を見張りながら見上げておりました。

さて、来年の活動地はマニラ市からバスで約1時間東北へ行った田舎です。学校の下見に訪れると施設面の貧弱さに驚かされ、経済成長から取り残された教育現状を改めて認識した次第です。校舎は木造の築70年強、窓も小さく高い位置についているため、薄暗い教室です。

しかし、これはまだ良い方でした。隣の建屋に入ってびっくり。第2次大戦で焼け残った細長い倉庫なのです。間仕切り工事をするに振動で倒壊の可能性があるため、屋根を柱の本数を増やして補強し、壁紙を新調してありますが、黒板を置いてなんとか仕切った教室が5つ。廊下もなく音や声は筒抜けで飛び交い、とても授業に集中できる環境ではありません。それでも、この教室の存在は貴重なのです。教室不足のため、午前と午後の2部に分けて子供たちは一生懸命に学んでいます。

RASAではこの子供たちが授業に集中できる教室を寄贈するため、**1棟3教室を約720万円で建設しておりますが、1,000万円で何とか1棟5教室建設したいと強く願っております。**

つきましては、子供たちが未来を切り開くための学校建設に皆様のあたたかいご寄付をお願いしたいと存じます。どうか多くの方々にご賛同いただきご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



次年度建設予定の学校訪問にて
校長先生(左)と教育省の方(右)

声が届かないため、先生方はマイク
を持つての授業。音が響き、悪循環



黒板で仕切っただけの教室

フィリピンの子供たちのためにあたたかいご寄付をよろしくお願いいたします

学校建設ボランティア参加者全員で頑張ってきました！ 詳しくは次頁へ👉



2020 学校建設活動報告

期 間：2020年2月2日～19日 18日間
活動場所：フィリピン ブラカン州 パンディー
カカロンバタ小学校
平屋建3教室 各室トイレ付を1棟建設
参加人数：32名(学生29名+引率者3名)
1人一家庭にホームステイをして活動

今年は例年より気温が低いこともあって、体調を崩す参加学生が少なく、元気に活動に取り組みました。建設作業は、砂ふるい、ペンキ塗り、セメントのバケツリレー等。炎天下の作業のため40分に一度休憩を挟み、スケジュールに従って取り組みました。6月に竣工式を迎えるのでRASA校舎でのびのびと学んでほしいものです。



建設校舎の前で 一現地作業員とともにー

子どもたちに人気の日本語授業

参加学生による日本語授業は学校側到大歓迎され、早速スケジュールを組んでくださいました。対象は小学4～6年生、しっかり学びたいという希望で60分授業を12回受け持つことになりました。ひらがなや挨拶、折り紙などの遊び等を英語で教える授業。子どもたちが楽しく学べるように、参加学生は班ごとに試行錯誤を繰り返していました。どの授業も子どもたちに好評で、日本語を覚えようと必死に学ぶ姿に学生たちも心を動かされたようです。教える側の参加学生と生徒が共に学ぶ授業は貴重な経験だと感じました。



歯磨き指導

フィリピンでは、歯磨き指導が行き届いていません。そこで、昨年名古屋市在住の歯科医 小宮稚菜先生からご寄付いただいた「英語版歯磨き指導シート」をカカロンバタ小学校の各教室に掲示してもらうために校長に進呈しました。すると、「これは全校生徒に教えないと！」と、翌日生徒に歯ブラシとコップを持参させて、校庭でクラスごとに指導シートに従い、先生方が丁寧に歯磨き指導をしていました。

この光景に私もどももびっくり！子どもたちに歯の大切さを知ってもらうために今後毎年伝えていきます。



ホストファミリーの事前調査

ボランティア参加の皆さんに安心してホームステイをしていただくため、事前にRASAが提示した条件を満たしているか、ホストファミリーとして適しているかを理事長と教頭先生、地方自治区長(バラングイ)等と全家庭を視察をしています。

その甲斐あって大きな問題もなく、滞在中に絆を深め、異文化に慣れて皆さん楽しんでいきます。毎年、帰る日には目に涙を溜めて別れを惜しむ姿でいっぱいになります。



帰国反省会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期をいたしました。
次号で紹介をさせていただきます。

ボランティア出発日、2月2日は立春直前と言っても寒さ厳しい朝でした。私は初めての参加です。日々、理事として建設ボランティアを自分の目で見て体験するべきではないかと考えていたことがきっかけです。特にホームステイは全く経験がないため、楽しみと不安、両方の感情が入り乱れた出発となりました。

現地カカロンバタ小学校門前に夕刻4時を回って到着。教職員をはじめ父兄及び生徒達の熱い歓迎に包まれました。翌日、午前中にスケジュール及び学校建設作業等の打ち合わせをして、午後から建設作業に取り組みました。炎天下の中の建設作業はどれも大変でしたが、中には「お腹が空かないのもっと作業を続けたい!」と、声を上げる学生もいることにびっくりしました。

ある日、校長先生から作業する引率者の私たちは称賛されました。不思議に思い理由を聞くと、私たちスタッフ3人ともに70歳を超えているにも拘らず、元気に働いている事で、フィリピンではほとんど見かけない光景だそうです。

また、ボランティア参加学生に依る日本語授業について小学校へ申し入れておりました処、快く受け入れて頂きました。小学4年生から6年生を対象に受け持つ事となりました。どの班の日本語授業もフィリピンの子供達に大人気で真剣な眼差しと笑顔で教室がいっぱいになりました。

フィリピンでの活動は今まで頭の中で推測していた事とはかなり違い、大変新鮮な思いの連続でした。今回特に現地で感じたことは、

- ①国際貢献(社会貢献)している実感
- ②ホームステイで家族の温もりを肌で感じた
- ③子供の人数に対して、教室があまりにも不足している

私は現地でホームステイをしてボランティア活動を継続できるのは、多数の方のご支援のお陰で成り立っている事を身に染みてわかった次第です。今後も皆さんの助けになれる様に努力して行きたいと思いました。有難うございました。



お世話になった校長先生(左)



建設作業に励みました!



パンディー市長表敬訪問

2020年度 給食支援が大きく変わります!

理事 藤井 忠子

3月9日～14日にフィリピンに出張し、サウスビル I 小学校と2020年度給食支援の対策会議と現地視察をしてまいりました。校長先生から提案があり、給食支援体制を改善して取り組むことで合意しました。RASAの給食支援活動の継続を強く望まれており、栄養失調児童の成長のためにより良い支援活動に努めてまいります。

【改善点】

- 1) 給食支援対象児童 5年生、6年生の栄養失調児童各50名 合計100名 ➡ **全学年の栄養失調児童 100名**
理由:「小学校を全員卒業!」を目標に対象を5、6年生に選択していたが、貧困で通学する体力すらない低学年の児童も多にいる。RASAの給食支援でBMI数値が大幅改善されているため、全学年を対象としたいという要望があった。

改善:給食支援を2部制から3部制に変更し1回の人数を減らすため、ゆとりあるスペースで食事ができる。

給食時間	1回目 10:30～11:00	2回目 11:30～12:00	3回目 12:00～12:30
対象学年	幼稚園児 1、2年生	3、4年生	5、6年生
人数	各10名 合計30名	3年生10名、4年生20名 合計30名	各20名 合計40名

- 2) RASAの資金繰りが厳しく、支援金が50万円減少するため、**給食内容の見直し**をする。

- ①対象児童の成長を考え、栄養価の高いメニューにするように改善点を学校に要請。
- ②現地視察で購入先を良品安価の店舗に変更し、粉ミルクと卵を毎食摂取する予算に変更。野菜果物は、近場で購入し、地産地消するよう提案。給食支援開始前に現地に出張し、店舗と価格を確認する予定。
- ③実務管理担当先生 2名(有償) ➡ **2名(無償)** 校長先生が選出。
電気、水道代は学校負担とする。

新型コロナウイルスの感染問題が日に日に大きくなっております。3月のフィリピン出張では14日に問題なく帰国できましたが、マニラ 空港が翌日から閉鎖となるため、道路は大渋滞。これからの混乱が懸念されました。25日の報道では感染者が一機に増加し、大統領が危惧し、遅れている医療体制支援に大幅な予算500億円を充当する決意の大英断で、対応強化に踏み込んでおります。

給食支援地域サウスビルから首都マニラへ仕事を求めて交通機関で2時間かけて移動している人が多くいます。感染予防対策で交通機関を封鎖され、徒歩で出稼ぎに行くとなると大変なこと。着いたところで仕事の保証はなく、突然の解雇もあるでしょう。マニラでは4月半ばまで全学校休校が決定。外出制限も出ており、経済活動に大きく影響が出ると考えられます。

給食支援地域では収入を得る仕事自体がないため、劣悪な衛生環境で飢餓状態に近い貧困層の子だくさんの家族がますます困窮に陥ることが予想され、給食支援活動に力を注いでいかなければなりません。さらに住宅がひしめき合っている環境では、一度感染が起きると大変な状況になると危惧されます。どうかフィリピンの脆弱な医療環境で感染拡大が起きませんようにと願うばかりです。

RASAの活動に対して
高い評価をいただきました



カブヤオ市教育省から
いただいた感謝状

2019年度 現地への支援金額のご報告

- ・学校建設費(カカロンバタ小学校) 6,522,397円＋未送金分 約672,000円
 - ・栄養失調児給食支援費(サウスビル I 小学校) 2,564,060円
- おかげさまで、今年度も活動が続けることができました。ありがとうございます。

第2回 RASA同窓会 11月開催予定！

お互いの再会を喜び合い、懐かしいひと時を先輩後輩の壁なく、
楽しんでいただきたいと思います。詳しくは次号でお知らせいたします。

今後の活動予定

- 4月 StudyTour(給食支援ボランティア活動)、学校建設ボランティア募集活動開始
学校建設ボランティア活動 帰国反省会(未定)
- 5月 定期総会(16日 カトリック平針教会 予定)
- 6月 カカロンバタ小学校 建物贈呈式
フェスタ・ジュニナ(チャリティーバザー) 豊田スタジアム
- 8月 StudyTour 給食支援ボランティア活動(未定)
- 9月 StudyTour 帰国反省会(未定)

RASA-Japanは皆様の会費と寄付金で運営されています

編集後記 新型コロナウイルスの報道で不安な日々をお過ごしのことと思います。RASAでも活動に影響が出ており、先の見えない現状にどう対応していくのかとスタッフ一同、頭を悩ませています。皆様、体調にはくれぐれもお気をつけください。感染予防に心がけ、頑張っている時期を乗り切りましょう！ (宮嶋)

ホームページ

<http://rasa-japan.com>



@rasa_japan



@rasa.japan



@rasa_japan

